液化石油ガス国家備蓄基地(倉敷計画地点)埋立工事 株式会社大本組岡山支店 東京製鐵岡山作業所 所長 中野 公聖氏

]から改善策イメージ、良い結果次々

し。ついていくのに精いっぱ を聞いて覚えるという繰り返 りて読み、分からないところ 先輩の大学時代の教科書を借 係の先輩に教えられました。 使う仕事だということを教育 果ては歴史まで多くの学問を 数学や物理から化学、 の高速道路の現場で、 社して最初に配属された九州 とてもいえませんでした。入 学生時代、勉学に熱心とは 土木が する習慣」が身に付いたよう 現場作業の改善を次々と進 工事に関わってきましたが、 に思います。その後、 応用力が養われ、「イメージ

こうした経験で基礎知識と

のは入社3年目、 海の工事に初めて携わった 山口県萩市

 $\begin{array}{c} 2 \\ 0 \\ 0 \\ 1 \end{array}$

年6月から担当した

めた思い出が特に多いのが

ぜそうするのか?なぜならば 沖の見島の防波堤築造工事で ました。 方法などを理論立てて教わり …」と船舶の配置や作業手順 す。この現場では主任から「な

ろいろ調べるうちに閃いたの るので、 が、「沈下板は下の粘土層か 理をすることになったのです 初です。 ら反力として圧密抵抗を受け から、沈下板を入れて沈下管 データをそろえて提案し、 でした。計測器具を自作 か」との疑問が湧いたのが最 間隙水圧計を用いる方法 正確な値と言えるの 他の管理方法をい

「閃き」からイメージを広げ

多くの

う海底地盤付近にタイロッド るのですが、 を受けました。水中でこれを を設置するように」との指導 から「鋼矢板が変形しないよ 圧噴射撹拌工法で地盤改良す 二重締切鋼矢板の内部を高 港湾技術研究所

中野 公聖氏 (なかの・こうせい)

1982 年大阪工業大学土木工学科卒 大本組入社。九州自動車道の工事を振 り出しに、入社3年目から近畿、中国、 九州・沖縄などを中心に各地で港湾や 空港島の建設工事に携わり、現場代理 人や監理技術者として数多くの現場で

工事を指揮してきた。2018 年 12 月から現職。宮崎県出身、60 歳。

かかりました。 設さんとのJVで2年半ほど め立てを行うもので、 掘るために、護岸を構築し埋 す。備蓄トンネルへの立坑を (倉敷計画地点)埋立工事」で 液化石油ガス国家備蓄基地 東洋建

用してもらいました。 埋立地の地盤が軟弱でした

> こでタイロッドを取り付け 腹起しの受け材を取り付け 法を考案しました。 てから鋼矢板を打設する方 ではなく、鋼矢板のセクショ 行うのは大変な作業です。そ ンを活かした単純梁と考え、 連続梁として

> > 感はひとしおです。

竣工

検

査後の記念写真はみんな笑

ますし、実現した時の達成

試行錯誤しながらリアルに

していく作業はわくわくし

くさんありました。

閃きを

例がこの現場では他にもた

体化してくれます。

そん

型枠にして内部にコンクリー ことが発注者の意向でしたか 組立用地も確保できません。 頂き採用されました。 無かったのですが、ご理解を に2次製品を使用した事例は トを打設しました。 ら、コンクリート2次製品を それでも工程通りに構築する 届かず、鉄筋・型枠・足場の す。工期が迫る中で支給材が トのハーフプレキャスト化で 次は鋼矢板上部コンクリー 海上工事

ろとイメージし、 疑問に思った事を投げ掛け 作業所の全員がいろい 改善策を具



イロッドを吊り込む 腹起こしに取り付けたタ



完成した埋立地

えた私は運が良かったと思 齢になっていました。 はありません。日々、 顔でした。 います。若い人たちには「基 を抱く先輩や上司に巡り会 いているうちに再雇用の年 方の背中を見て憧れ、 する」といったことは得意で 私は勉強が苦手でしたか 若手にも「教える」「教育 もが 憧れ

ジする力を養って下さい」と 然と思い浮かびます。イメー 礎を習得し、 伝えています。 閃きは必要な時に自 . 疑問を持ち続け